

リモートアクセス型オンサイト利用の試行運用 に当たっての基本的な考え方（案）

総務省政策統括官（統計基準担当）、統計局
独立行政法人統計センター

1 目的

中央データ管理施設と SINET 環境で接続したオンサイト施設において、試行運用版のガイドライン・各種基準の下、調査票情報を用いた研究利用を行い、課題の洗い出しを行うことにより、本格運用に向けた制度面、技術面のブラッシュアップを図る。

2 内容

(1) 参加拠点候補（開設予定時期）

情報・システム研究機構（4月以降）、一橋大学（1月）、神戸大学（1月～2月）、滋賀大学（4月以降）—等

(2) 中央データ管理施設

（独）統計センターが整備・運営

※ 中央データ管理施設等の運用方針は別紙のとおり。

(3) 開始時期

平成 29 年 1 月以降、準備の整った拠点から順次開始

(4) 提供する調査票情報

総務省統計局の実施する統計調査のうち、準備が終わったものから順次提供統計法第 33 条第 2 号の規定に基づく調査票情報の提供実績が多いもの（全国消費実態調査等）を中心に選定

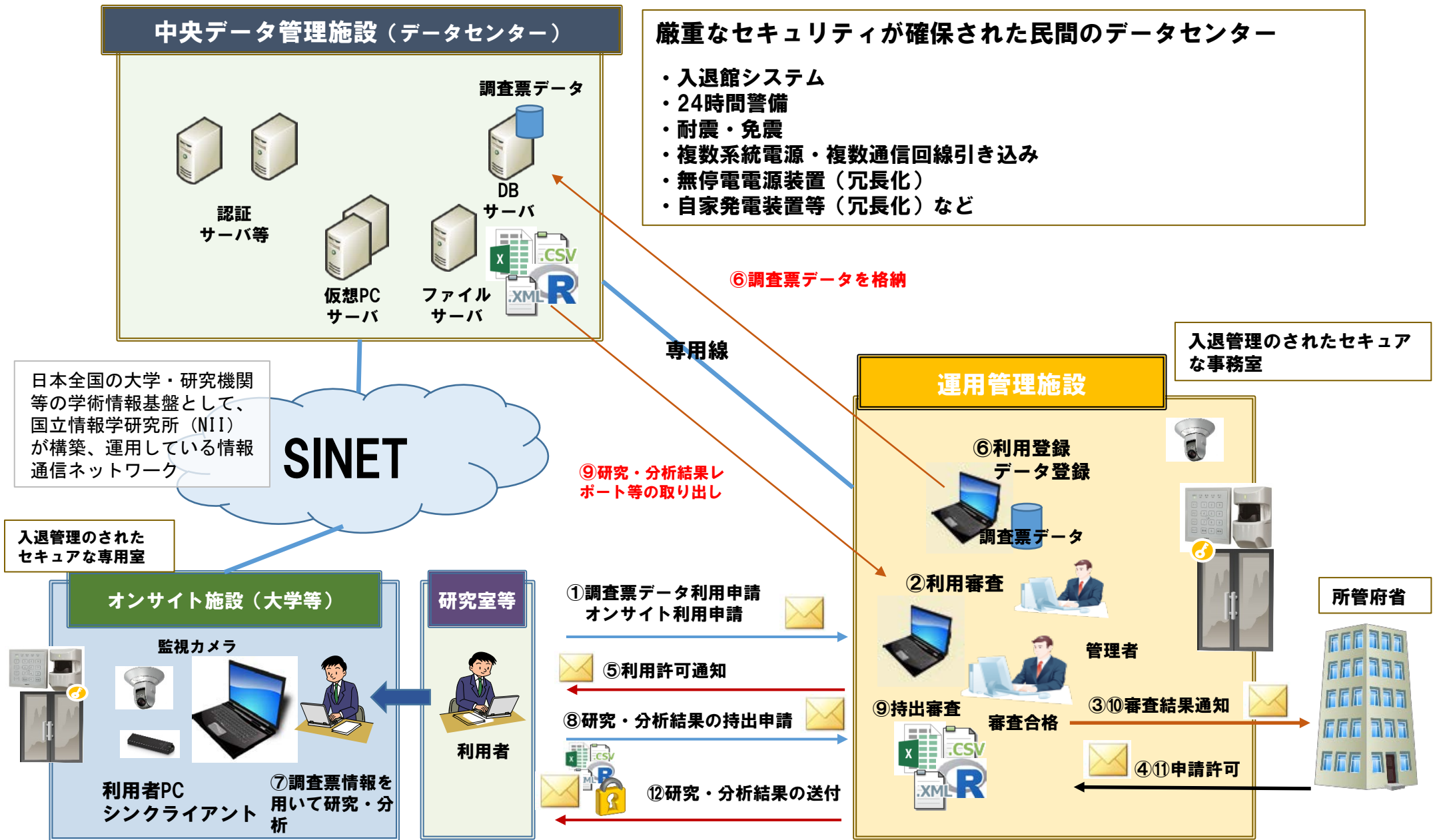
(5) 費用

- ・オンサイト施設管理者側で、利用者 PC、ネットワークカメラ関係、ルータ等の初期費用と、回線利用料等の運用費用を負担
- ・施設利用者側の負担は当面なし（本格運用に向け、ソフトウェア・保存領域確保等の実費負担について検討）

3 今後の予定

平成 30 年 1 月目途で本格運用開始（開始時 10 拠点程度。段階的に拡大）

(参考) オンサイト利用の手続の流れ (概念図)



調査票情報の提供形式

- ◆テキスト形式やCSV形式
- ◆行政機関から受領したデータ形式、ファイル単位を変更せず提供
- ※統計局データは、試行運用では不要項目マスキング済のテキスト形式データ

データ利用期間

- ◆利用期間は原則1年以内で申請
- ◆1年ごとに延長申請

施設利用時間

- ◆システムは24時間利用可
- ただし、利用者へのサポートは統計センター開庁日の9:30~17:30
- ◆オンサイト施設の利用時間は、オンサイト施設管理者が決定

オンサイト施設の予約

- ◆オンサイト施設の予約は、施設側で管理
- ◆利用者はオンサイト施設に直接予約
- ※将来的に予約システムなど検討

監視カメラの運用

- ◆オンサイト施設で、監視及び録画
- ◆録画の保存は3年間
- ◆統計センターからも、監視カメラ映像にアクセス

オンサイト施設の設備

- ◆SINET(専用のVLAN)に接続
- ◆利用者用PCは3台まで
- ◆監視カメラ、録画・監視装置を設置
- ※施設設置に必要な経費 約200万円

仮想PCの運用

- ◆物理PCに対して、1仮想PCを設置
- ◆利用申請に対して作業領域100GB、DB領域200GBを用意
- ◆作業領域は、毎日バックアップ保存。また、利用終了後1年間保管

仮想PCへの認証

- ◆認証方法は、ID及びパスワードによる
- ◆ID等は、申請者、共同研究者のそれぞれに用意
- ※将来的に二要素認証を検討

利用できる統計解析ソフト

- ◆R (R Studio 含む)
- ◆SAS University Edition
- ◆Excel2013
- ※SASの利用許諾は統計センターで一括で申請

ソフトウェアの持込み

- ◆大学として持込み可
- ◆利用者による持込み可
- ◆持込みのために必要なライセンス許可は持込み者がソフトウェア業者と交渉
- ◆持込みに係る費用は、すべて持込み者の負担

データ持込み審査

- ◆利用者からのデータの持込みについては、簡単な書類審査とウイルスチェックを実施
- ◆プログラムソースコードについても同様

大学の経費負担

- ◆施設の設備経費
- ◆SINETの回線料
- ◆仮想PCカスタム経費(ソフト持込み)
- ※統計センターの自己収入については検討中